



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月9日

上場会社名 遠州トラック株式会社  
コード番号 9057 URL <https://www.enshu-truck.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金原 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松尾 孝之

TEL 0538-42-1111

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年12月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	23,095	4.7	1,216	19.2	1,231	19.6	848	2.9
2023年3月期第2四半期	22,049	7.0	1,505	4.6	1,532	4.5	873	20.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 872百万円 ( 5.1%) 2023年3月期第2四半期 919百万円 ( 16.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	113.66	
2023年3月期第2四半期	117.05	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	39,321	20,677	52.6
2023年3月期	35,812	20,148	56.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 20,677百万円 2023年3月期 20,148百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		47.00		47.00	94.00
2024年3月期		47.00			
2024年3月期(予想)				47.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	4.9	2,550	19.8	2,550	21.3	1,880	17.7	251.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	7,546,000 株	2023年3月期	7,546,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	78,144 株	2023年3月期	81,420 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	7,465,869 株	2023年3月期2Q	7,462,775 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国は、新型コロナウイルス感染症の分類移行により、経済活動の正常化が進みました。その一方で、エネルギー価格や原材料価格の高騰、円安の長期化、継続的な物価上昇など依然として先行きの不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、燃料費の高止まりや人手不足など、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、輸送では宅配や飲料等が、倉庫では輸送機器向けの部品が増加したこと等から、当第2四半期連結累計期間の営業収益(売上高)は230億95百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

利益面におきましては、外注費や人件費の増加、燃料費の高止まり等が影響し、営業利益は12億16百万円(前年同期比19.2%減)、経常利益は12億31百万円(前年同期比19.6%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は8億48百万円(前年同期比2.9%減)となりました。

セグメント別の営業収益の状況は次のとおりです。

物流事業の営業収益は229億58百万円(前年同期比4.5%増)となりました。その内訳は、輸送部門が170億15百万円(前年同期比2.3%増)、倉庫部門が59億42百万円(前年同期比11.2%増)となりました。

その他(不動産事業等)は1億36百万円(前年同期比96.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は132億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億93百万円増加しました。これは主に現金及び預金が19億円、受取手形及び営業未収入金が1億54百万円増加したことによるものであります。固定資産は260億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億16百万円増加しました。これは主に有形固定資産が12億33百万円、無形固定資産が1億90百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、393億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億9百万円増加しました。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は88億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億36百万円減少しました。これは主に短期借入金が4億44百万円、支払手形及び営業未払金が1億90百万円、その他に含めて表示している未払費用が1億70百万円、未払消費税等が1億20百万円増加したものの、設備関係電子記録債務が16億78百万円減少したことによるものであります。固定負債は98億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億17百万円増加しました。これは主に長期借入金が37億83百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、186億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億80百万円増加しました。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は206億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億29百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益8億48百万円及び剰余金の配当3億50百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は52.6%(前連結会計年度末は56.3%)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は72億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は14億94百万円（前年同期比1億33百万円増）となりました。主な増加は、税金等調整前四半期純利益12億14百万円、減価償却費4億12百万円、仕入債務の増加額2億6百万円、未払消費税等の増加額1億20百万円であり、主な減少は、法人税等の支払額4億79百万円、売上債権の増加額2億9百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は34億52百万円（前年同期比9億24百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出34億15百万円があったことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は38億58百万円（前年同期比27億72百万円増）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出5億36百万円、配当金の支払額3億50百万円による支出に対し、長期借入れによる収入46億円、短期借入金の純増加額1億65百万円による収入があったことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の連結業績や年度末に向けての需給動向を勘案した結果、営業利益は、前回発表予想を下回る見込みとなりました。経常利益および親会社に帰属する当期純利益につきましても、営業利益の減少を受けて、前回発表予想を下回る見込みです。このため、2023年5月12日に公表しました通期連結業績予想を以下のとおり修正することといたしました。

## 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 47,000	百万円 3,150	百万円 3,150	百万円 2,250	円 銭 301.46
今回修正予想（B）	47,000	2,550	2,550	1,880	251.89
増減額（B－A）	－	△600	△600	△370	－
増減率（％）	－	△19.0	△19.0	△16.4	－
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	44,813	3,178	3,241	2,284	306.08

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によりより大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,396	7,296
受取手形及び営業未収入金	5,142	5,297
電子記録債権	204	259
販売用不動産	20	48
仕掛販売用不動産	25	—
その他	351	332
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,140	13,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,899	6,079
機械装置及び運搬具(純額)	288	262
土地	11,598	12,750
リース資産(純額)	288	264
建設仮勘定	3,806	3,763
その他(純額)	203	199
有形固定資産合計	22,086	23,320
無形固定資産	424	615
投資その他の資産		
投資有価証券	356	387
繰延税金資産	342	332
その他	1,462	1,431
投資その他の資産合計	2,160	2,152
固定資産合計	24,671	26,088
資産合計	35,812	39,321

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	3,121	3,311
電子記録債務	357	373
短期借入金	2,275	2,719
未払法人税等	529	417
賞与引当金	266	344
設備関係電子記録債務	1,934	255
その他	1,078	1,400
流動負債合計	9,561	8,824
固定負債		
長期借入金	4,995	8,778
退職給付に係る負債	632	648
資産除去債務	88	89
その他	385	302
固定負債合計	6,102	9,819
負債合計	15,663	18,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,093	1,098
利益剰余金	17,696	18,194
自己株式	△57	△55
株主資本合計	20,016	20,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137	159
退職給付に係る調整累計額	△5	△3
その他の包括利益累計額合計	132	155
純資産合計	20,148	20,677
負債純資産合計	35,812	39,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益	22,049	23,095
営業原価	20,009	21,267
営業総利益	2,040	1,827
販売費及び一般管理費	534	611
営業利益	1,505	1,216
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	4
補助金収入	7	2
受取保険金	7	21
保険配当金	7	1
違約金収入	8	—
保険解約返戻金	—	18
その他	9	7
営業外収益合計	49	55
営業外費用		
支払利息	15	37
違約金	7	0
その他	0	2
営業外費用合計	23	40
経常利益	1,532	1,231
特別利益		
固定資産売却益	9	3
投資有価証券売却益	—	0
災害に伴う受取保険金	0	—
特別利益合計	10	4
特別損失		
固定資産売却損	37	—
固定資産除却損	23	21
災害による損失	8	—
訴訟関連費用	217	—
特別損失合計	287	21
税金等調整前四半期純利益	1,255	1,214
法人税等	382	365
四半期純利益	873	848
親会社株主に帰属する四半期純利益	873	848



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	873	848
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	22
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	45	23
四半期包括利益	919	872
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	919	872

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,255	1,214
減価償却費	368	412
支払利息	15	37
有形固定資産売却損益(△は益)	27	△3
有形固定資産除却損	23	21
災害に伴う受取保険金	△0	—
災害による損失	8	—
訴訟関連費用	217	—
売上債権の増減額(△は増加)	92	△209
仕入債務の増減額(△は減少)	△153	206
未払消費税等の増減額(△は減少)	△85	120
その他	26	209
小計	1,796	2,009
利息及び配当金の受取額	9	4
利息の支払額	△16	△39
法人税等の支払額	△416	△479
災害に伴う保険金の受取額	0	—
災害損失の支払額	△20	—
法人税等の還付額	7	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,361</b>	<b>1,494</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,585	△3,415
有形固定資産の売却による収入	114	3
無形固定資産の取得による支出	△21	△81
保険積立金の解約による収入	1	55
その他	△37	△14
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,528</b>	<b>△3,452</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	139	165
長期借入れによる収入	1,650	4,600
長期借入金の返済による支出	△398	△536
配当金の支払額	△298	△350
その他	△6	△18
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,085</b>	<b>3,858</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△81	1,900
現金及び現金同等物の期首残高	4,808	5,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,727	7,296

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。